

椿窯 佐藤珠幸 陶展

～ 25 年をむかえ～



平成30年4月28日(土)～5月20日(日) ※会期中、自宅(椿窯)にて窯場展も同時開催

会場 朝倉文夫記念文化ホール

休館日 5月1日(火)、5月7日(月)、5月14日(月)

開館時間 午前9時～午後5時

入館料 大人 200円(160円*)、小中高生 無料

(入館は午後4時30分まで)

(記念館入館者は無料)

*カッコ内は20名以上の団体料金・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者1名は無料

おおいた大茶会とともに 第20回 大分県民芸術文化祭参加行事

第33回国民文化祭・おおいた2018 第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会プレイベント

主催:豊後大野市 朝倉文夫記念館

後援:大分県民芸術文化祭実行委員会、大分合同新聞社、大分県芸術文化振興会議、OBS大分放送、TOSテレビ大分、

OAB大分朝日放送、エフエム大分、大分ケーブルテレコム株式会社

椿窯 佐藤珠幸 陶展 ～25年をむかえ～

佐藤珠幸氏（東陶会理事）は、1950（昭和25）年、北九州市若松区生まれ。小学生の頃から陶芸に興味を抱き、1968年、上京。ベーシックデザインを学び、1971（同46）年、東京クラフトデザイン研究所陶磁器専攻科を卒業。常滑秘色焼にて修業ののち、1975年、静岡県焼津市に窯を開き、1989（平成元）年、竹田市に移窯。その後、当時の朝地町長の再三の要請を受け、1993（同5）年、現豊後大野市朝地町鳥田に椿窯を開き、祖母山・傾山を見渡すことのできる雄大な自然を楽しみながら、伝統性をふまえ、やさしい表現を心がけた作陶をしています。

1993年以来、当館にて開催している佐藤氏の個展も、今年で25回目を迎えます。それを記念して、「椿窯 佐藤珠幸 陶展 ～25年をむかえ～」と題し、これまでの作品と新作を合わせた、約120点の作品を展示します。佐藤氏が選曲した、女性ボーカルを中心とした音楽が流れる会場で、作品をご鑑賞ください。



泥彩花生



月白輪花鉢



ささめ雪菓子鉢



織部花挿



東陶会理事

「椿窯主宰」 佐藤珠幸

豊後大野市朝地町在住

1950年 北九州市若松に生まれる

1971年 東京クラフトデザイン研究所
陶磁器専攻科卒業

1972年 常滑秘色焼入社

1975年 焼津に窯を開く

1989年 大分県竹田市に移窯

1993年 大分県朝地町に移窯

1993年 佐藤珠幸陶展

以降ほぼ毎年開催（朝倉記念文化ホール）

大丸東京店美術画廊個展（数回）

長三賞

産業輸出デザイン展

南アフリカ JAPAN 展出品

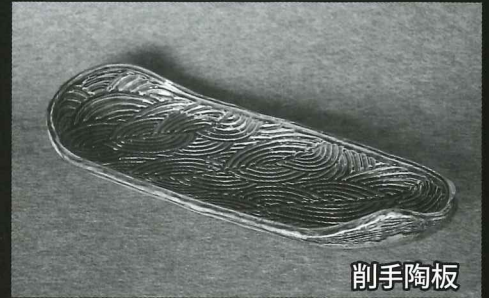
富嶽展に入選

静岡県芸術祭受賞

朝日陶芸展に入選

第13回国民文化祭・おおいた98

野外陶芸展受賞



削手陶板



綿田釉茶盃



邑露釉徳利



白釉梅小鉢

会期中、
自宅(椿窯)にて
窯場展も同時開催

Fumio Asakura Museum of Sculpture

朝倉文夫記念館

〒879-6224 大分県豊後大野市朝地町池田1587-11

愛の園生 朝倉文夫記念公園 TEL.0974-72-1300

<http://www.bungo-ohno.jp/categories/shisetsu/asakura/>

